

「新世代」とは

「新世代」とは、ロータリー家族の最も若い世代の人々を指し、その多くは、青少年や若者を対象としたロータリーのプログラム(インターアクト、ローターアクト、青少年指導者養成プログラム [RYLA]、青少年交換)の参加者たちです。さらに、ロータリー・クラブや地区の活動に参加している奉仕志向の若者たちも含まれます。

「新世代」という言葉は、ルイス・ビセンテ・ジアイ元RI会長が初めて使いました。ジアイ元会長は、若い人々にロータリーのプログラムと活動にもっと参加してもらうことこそ、ロータリーの将来を確かなものとするためのカギであると信じていました。1996年のカルガリーRI国際大会で、元会長は次のように述べました。

「成功と失敗を分かつ要素は、未来へのビジョンです。これは、かつてないほど真実であると言えます。 新世代は未来への投資です。今日から、未来を築き始めようではありませんか」

2010年、「新世代奉仕」はロータリーの第五の奉仕部門となりました。標準ロータリー・クラブ定款第5条に、以下のように定義されています。

奉仕の第五部門である**新世代奉仕**は、指導力養成活動、社会奉仕プロジェクトおよび国際奉仕プロジェクトへの参加、世界平和と異文化の理解を深め育む交換プログラムを通じて、青少年ならびに若者によって、好ましい変化がもたらされることを認識するものである。

新世代奉仕では、クラブの職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕プロジェクトにおける青少年や若者の参加を促進し、こうした世代の支援を目的としたプログラムやリソースをクラブが積極的に提供していくことが重要です。

クラブ委員会

新世代奉仕においても継続性は重要なポイントとなります。クラブ・リーダーシップ・プランの下、既存の 委員会に新世代奉仕を担当してもらうか、新たに新世代委員会を設置しましょう。新世代を担当する委員 会は、新世代奉仕の長期目標を立てる必要があります。

新世代と奉仕部門

長い歴史の中で、ロータリアンはそれぞれの地域で青少年の支援に力を注いできました。RI長期計画は、5つの全奉仕部門でバランスの取れた活動を行うことを目指しており、活動によっては複数の部門に当てはまるものもあります。新世代奉仕は、青少年や若者のためのロータリアンによる活動の価値を認め、そうした活動をさらに広げるようクラブに奨励するものです。その土台には、「すべてのロータリアンには、若い人々が抱えるさまざまなニーズを認識し、彼らの人間的・職業的成長を支援する責務がある」という考え方があります。

新世代の支援に既にかかわっている方へ

新世代活動をさらに広げてみませんか。既にクラブが地元高校で生徒の個人指導などの活動を行っている場合、その学校にインターアクト・クラブを設立してはいかがでしょうか。14~18歳のインターアクト・クラブが既にある場合には、新たに12~14歳を対象としたインターアクト・クラブを作ることも可能です。

新世代と会員増強

活動の範囲を新世代へと広げることは、ロータリー・クラブの未来への投資です。地元の青少年や若者とのつながりを築けば、将来の会員候補者の育成につながるだけでなく、若いパワーや新鮮な考え方を取り入れることによってクラブが若返ります。就職支援デーや個人指導プログラムなど、若者を対象とした職業奉仕や社会奉仕の活動を通じて、ロータリーの奉仕の理想を彼らと分かち合うことができます。

世界各地で新世代のロータリー・クラブも誕生しつつあります。これらのクラブは、既存のクラブが自分のニーズに合わないという若年層の人々に、ロータリー入会への道を開くものです。

ロータリーの青少年プログラムは、生涯続くロータリーでの奉仕の出発点となるものですが、これらプログラムの参加者たちは、既に地元や世界中で大きな貢献を果たしていることも忘れてはなりません。青少年参加者たちと深い関係を築くことは、将来的な投資となるだけでなく、現在のクラブ活動の充実にもつながります。

新世代奉仕を奨励する

新世代奉仕への参加をクラブ会員に呼びかけるには、さまざまな方法があります。

- クラブ会報に新世代関連の記事を掲載する
- クラブのウェブサイトやソーシャルネットワークを通じて、新世代プロジェクトに関する情報を 発信する
- インターアクト・クラブやローターアクト・クラブのプロジェクトについて紹介してもらうために 地元メディアに連絡する
- 新世代の支援に多大な貢献を果たした会員を表彰する

青少年や若者にロータリーを紹介する

個人指導、就職相談、小論文コンテストといったクラブのプロジェクトは、新世代を支援するだけでなく、地元の青少年や若者にロータリーとその理想を知ってもらう機会となります。ほかにもさまざまな活動が考えられます。

- ロータリーの奉仕の理想を実践した学生の表彰や、奨学金の提供
- 地元や海外の青少年を支援するプロジェクトのための募金活動(地元の青少年に参加してもらう)
- 学校図書室への図書や辞書の寄贈などの社会奉仕プロジェクト

新世代プログラム間の推進

既にロータリーに関係している若い人々の支援も、等しく重要であることを忘れてはなりません。さまざまな方法で、これらの若者とロータリーとのかかわりを引き続き保つことができます。

- インターアクターを地元ローターアクト・クラブに紹介したり、ロータリー青少年交換への参加の 機会を提供する
- ローターアクターにRYLA行事のリーダーを務めてもらう
- 青少年交換学生に、帰国後にインターアクト・クラブかローターアクト・クラブを立ち上げるよう 奨励する
- インターアクターまたは青少年交換学生を、地区のRYLA行事の参加者として推薦する
- ローターアクターに、インターアクターの指導や、インターアクト・クラブの奉仕プロジェクトに協力してもらう

ロータリー財団も、ロータリー平和フェローなどの教育的プログラム、奨学金、青少年のための奉仕プロジェクトなど、さまざまな形で新世代を支援しています。詳細は、地区ロータリー財団委員長にお問い合わせください。

新世代のための月間

9月は「新世代のための月間」です。この月間は、地域の優れた若者や、ロータリーの青少年プログラムへの参加者の業績を表彰するのに最適です。また、クラブ例会でインターアクターやローターアクターの活動を紹介したり、これらの若者たちを例会に招待して活動について発表してもらったり、地域の青少年のための新しいプロジェクトを始めたりするのもよいでしょう。

新世代と奉仕プロジェクト

若い人々に社会奉仕プロジェクトに参加してもらうことも、クラブが積極的に新世代奉仕に参加する方法です。以下のような活動で、若者たちも地域社会に貢献することができます。

- ポリオ撲滅のための募金活動
- 高齢者支援のボランティア
- 町の清掃活動や美化活動
- 慈善団体への古着や食糧の寄贈
- 企業と協力して就職フェアを開催
- 大学キャンパスでのエイズ/HIV認識向上キャンペーン
- 自転車を修理して児童養護施設に寄贈
- 小学校で非行防止の指導
- 地域の人々を動員して河川や湖を清掃

奉仕活動への参加により、ロータリーへの関心も高まります。

地区委員長に連絡する

青少年プログラムの各地区委員長は、新世代奉仕への認識向上を支援し、プロジェクトのサポートとガイダンスをロータリアンに提供できる存在です。地区委員長の名簿が必要な方は programs@rotary.orgまでご連絡ください。

インターアクト

インターアクトは、12~18歳の青少年による奉仕クラブです。インターアクト・クラブは、地域社会または学校を基盤として結成されます。ロータリー・クラブがインターアクト・クラブの設立を支援し、指導やサポートを提供しますが、それぞれのインターアクト・クラブは自助自立して運営されます。インターアクトの目標は、指導力や高潔な心を身につけ、他者への思いやりと尊重の念を育み、個人としての責任や一生懸命仕事をすることの価値を理解し、国際理解と親善を推進することです。

インターアクトは、対象となる年齢幅が広いため、同じ地域に年齢層ごとの複数のクラブを設立することも可能です。例えば、米国テキサス州のロータリー・クラブは、3つのインターアクト・クラブ (14~18歳の高校生のクラブ、および12~14歳の中学生のクラブを2つ)を設立しました。

ロータリー・クラブは、以下の方法でインターアクトを支援できます。

- クラブ例会に地元のインターアクターや地区インターアクト委員長を招き、卓話をしてもらう
- 地域での奉仕活動にインターアクターにも参加してもらう
- インターアクト・クラブを創設する(創設の際には学校の管理運営責任者と会合する)
- インターアクターのためのキャリアデーを開催する
- インターアクト・クラブの例会に出席するか、反対に、ロータリー・クラブの例会にインターアクターに出席してもらう
- インターアクターの個人指導を行うロータリー・クラブ会員を指名する

リソース

インターアクトとインターアクト・クラブの創設方法については、以下のリソースをご参照ください。

- インターアクト要覧(654)
- インターアクト・パンフレット (600)
- インターアクト・ポスター(639)
- インターアクト:違いをもたらそうDVD (650)
- インターアクト顧問教諭のための指針(ウェブのみ)

リソースは、RIウェブサイト (www.rotary.org/interact、画面下の「日本語」をクリック) からダウンロードするか、オンラインショップ (shop.rotary.org) からお買い求めいただけます。

お問い合わせは、interact@rotary.orgまでご連絡ください。

5

ローターアクト

ローターアクトは、18~30歳までの青年による奉仕クラブです。大学を基盤としたクラブは、学部生と大学院生から成り、キャンパス内で例会を開きます。地域社会を基盤としたクラブは、社会人や学生など、さまざまな職業の青年によって構成されます。ローターアクト・クラブはすべて、地元ロータリー・クラブの支援の下で設立され、社会奉仕や国際奉仕の活動を実施します。ローターアクト・クラブはまた、指導力要請や職業開発の活動にも焦点を当てています。

ロータリー・クラブは、以下の方法でローターアクトを支援できます。

- 地元の大学やコミュニティセンターに、ローターアクト関連の情報を掲示する
- クラブにローターアクト委員会を設立する
- ローターアクト・クラブの設立を支援し、後援する
- クラブ例会にローターアクターを招いたり、奉仕プロジェクトやクラブ活動で協力し合うなど、 互いの関係を深める努力をする
- ローターアクターの職業人またはリーダーとしての力を育てるため、個人指導を行ったり、 ローターアクト・クラブ役員のための研修を実施する
- 元ローターアクターをロータリー・クラブの会員として迎える

リソース

ローターアクトとローターアクト・クラブの創設方法については、以下のリソースをご参照ください。

- ローターアクト必携 (562)
- ローターアクト・パンフレット (663)
- 地区ローターアクト指導者の手引き(ウェブのみ)

リソースは、RIウェブサイト (www.rotary.org/rotaract、画面下の「日本語」をクリック) からダウンロードするか、オンラインショップ (shop.rotary.org) からお買い求めいただけます。

お問い合わせは、rotaract@rotary.orgまでご連絡ください。

ロータリー青少年交換

ロータリー青少年交換は、青少年・青年のための交換プログラムです。参加する学生は、最高1年間、海外へ留学して新しい文化を学びます。15~19歳の学生は、最高1年間の長期交換、もしくは数週間から数カ月間の短期交換に参加できます。一方、18~25歳の青年を対象とした新世代交換は、数週間から最高3カ月までとされています。交換の参加者はロータリー・クラブまたは地区によって推薦、派遣され、母国の親善大使としての役割を果たします。

ロータリー・クラブは、以下の方法でロータリー青少年交換を支援することができます。

- 交換学生をクラブ例会に招き、卓話をしてもらう
- 海外のクラブと連携して、学生の受入れや派遣を行う
- 参加学生やホストファミリーとなる可能性のある人々に、青少年交換の文化的・教育的価値を伝える
- 地元のPTAまたは学校の委員会で、現在の留学生や元留学生によるスピーチを企画し、青少年交換の素晴らしさについて話してもらう
- 地区青少年交換委員長または地区ガバナーに連絡し、参加方法を尋ねる

リソース

青少年交換プログラムおよび交換学生の推薦方法については、以下のリソースをご参照ください。

- 青少年交換要覧 (746)
- 長期青少年交換パンフレット (755)
- 短期青少年交換パンフレット (756)
- 新世代交換パンフレット (760)
- 青少年交換ポスター (751)

リソースは、RIウェブサイト (www.rotary.org/youthexchange、画面下の「日本語」をクリック) からダウンロードするか、オンラインショップ (shop.rotary.org) からお買い求めいただけます。

お問い合わせは、youthexchange@rotary.orgまでご連絡ください。

ロータリー青少年指導者養成プログラム (RYLA)

ロータリー青少年指導者養成プログラム (RYLA) は、青少年や若者のための研修プログラムです。RYLAの対象年齢層は14~30歳と広いため、ほとんどのクラブや地区では、特定の年齢層に対象を絞って実施しています (14~18歳、19~24歳、25~30歳など)。RYLAは、リーダーおよび善き市民としての資質を伸ばし、人間としての成長を促すことを主眼としています。このプログラムは、リーダーとして嘱望される若者に効果的な研修を提供し、青少年による青少年への指導を奨励し、地域社会に尽くしている若者を公に表彰することにより、若者に対するロータリーの尊重を示すものです。

ロータリー・クラブは、以下の方法でRYLAを支援できます。

- 学校の管理責任者やインターアクト・クラブの顧問教諭に依頼し、RYLAについて生徒や親に 伝えてもらう
- 元RYLA参加者をクラブ例会に招き、その経験を語ってもらう
- 地元の若者を地区のRYLA行事に派遣するための予算を計上する
- リーダーとなる資質を備えた地域の若者を、地区RYLA行事の参加者として募集する
- RYLAの同窓会を開く
- 地区RYLA委員長に連絡し、クラブが参加する方法を尋ねる

リソース

RYLAプログラムについては、以下のリソースをご参照ください。

- ロータリー青少年指導者養成プログラム指針(694)
- ロータリー青少年指導者養成プログラム・パンフレット(636)
- ロータリー青少年指導者養成プログラム・ポスター(635)

リソースは、RIウェブサイト (www.rotary.org/ryla、画面下の「日本語」 をクリック) からダウンロード するか、オンラインショップ (shop.rotary.org) からお買い求めいただけます。

お問い合わせは、ryla@rotary.orgまでご連絡ください。

青少年の保護

ロータリーの青少年保護に関する方針は、未成年が関与するすべてのロータリー活動に適用されます。 これには、インターアクト、RYLA、ロータリー青少年交換などが含まれます(ただし、これらのプログラムに限られるものではありません)。

青少年と接する際の行動規範に関する声明

国際ロータリーは、ロータリーの活動に参加するすべての青少年のために安全な環境をつくり、これを維持するよう努める。ロータリアン、その配偶者、その他のボランティアは、接する児童および青少年の安全を考え、肉体的、性的、および精神的な虐待から彼らの身を守るため、最善を尽くす責任がある。

リソース

青少年の保護に関する詳細は、「虐待とハラスメント防止に関する研修の手引きおよび研修リーダー用手引き」(775)をご覧ください。

お問い合わせは、programs@rotary.orgまでご連絡ください。

新世代の学友

学友を探し出し、ロータリー活動への参加の機会を与えることも、新世代を支援する方法の一つです。 元インターアクター、元ローターアクター、元青少年交換学生、元RYLA参加者などの学友は、既に地区 外に移転してしまっている場合もありますが、逆にほかの国や地区出身の学友が現在地区内に住んで いる可能性もあります。

青少年プログラムのすべての学友には、ロータリーとのかかわりを保つチャンスを与える必要があります。 クラブは、 さまざまな方法で学友とのつながりを保つことができます。

- 学校を基盤とするインターアクト・クラブやローターアクト・クラブのために卒業イベントを開催し、その後もロータリーとのつながりを持ち続ける方法を紹介する
- 他地域に移転する青少年プログラム元参加者を、移転先にあるロータリー・クラブに紹介する
- 地区出身の学友で、既に他地域に引っ越してしまった学友に連絡を取り、その地域のロータリー・ クラブと連絡が取れるよう援助する
- 地元新聞に広告を掲載、またはソーシャルネットワーキング・サイトを活用するなどして、ロータリーとのつながりを取り戻すよう元青少年プログラム参加者に呼びかけ、クラブの連絡先を掲載する
- クラブ例会や地区行事に学友を招く

ロータリー・クラブのリーダーは毎年交代しますが、青少年や会員増強への取り組みは継続が大切です。昨日のインターアクターは、今日のローターアクターであり、明日のロータリアンとなるのです。



1560 Sherman Avenue
Evanston, IL 60201-3698 USA
www.rotary.org